



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東 福

上場会社名 東福製粉株式会社

コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野上 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 中路 節

TEL 092-781-1661

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,738	0.6	42	25.2	42	15.4	34	54.5
25年9月期第2四半期	1,727	0.2	34	—	36	—	22	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 23百万円 (△76.3%) 25年9月期第2四半期 97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	3.43	—
25年9月期第2四半期	2.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	4,232	1,776	42.0	178.38
25年9月期	4,067	1,753	43.1	176.07

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,776百万円 25年9月期 1,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	8.6	41	△21.2	32	△23.8	20	△31.0	2.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	10,000,000 株	25年9月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	42,358 株	25年9月期	42,225 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	9,957,753 株	25年9月期2Q	9,959,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。平成26年5月13日付にて、四半期財務諸表に対する四半期財務諸表レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年10月1日～平成26年3月31日)における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が強まり、個人消費や生産も増加しているほか、企業収益や雇用情勢も改善しており、全体的に景気は緩やかに回復しつつあります。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見込まれます。

製粉業界におきましては、海外穀物相場の動きは徐々に安定してきたものの、依然として上昇傾向が続いており、政府売渡小麦価格は、昨年10月の4.1%の引き上げに続き、本年4月には2.3%の引き上げが予定されております。さらに、低価格志向を背景とした販売競争も依然として続いております。

このような中、当社グループは、既存取引先の拡充等による販売力の強化や製造効率の向上及びコスト削減等に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高で17億3千8百万円と対前年同期比0.6%の増収となりました。損益面につきましては、営業利益4千2百万円(対前年同期比25.2%増)、経常利益4千2百万円(同15.4%増)、四半期純利益3千4百万円(同54.5%増)となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

〈製粉事業〉

製粉事業につきましては、主力の小麦粉は、政府売渡小麦価格の改定に伴い昨年7月及び12月に製品価格の引き上げを行っております。係る状況下において販売力の強化に努めたものの、厳しい販売競争の中にあつて販売数量が減少したため、売上高は対前年同期比6百万円減の11億4千2百万円(同0.6%減)となりました。

副製品のふすまは、生産数量の減少に伴い販売数量は減少しましたが、好調な市況を背景として販売単価が高水準で推移したため、売上高はほぼ前年同期並みの1億1千万円(同0.8%増)となりました。

ミックス粉は、製品単価は上昇したものの小袋等の販売数量の減少により、売上高は7千6百万円(同0.2%減)となりました。

商品は、子会社における販売が好調に推移したこと等により、売上高は対前年同期比1千6百万円増加の3億9千2百万円(同4.5%増)となりました。

以上の結果、製粉事業の売上高は17億2千2百万円(同0.6%増)、セグメント利益は1億2千3百万円(同2.7%増)となりました。

〈不動産賃貸事業〉

不動産賃貸事業につきましては、売上高は前年同期と同額の1千6百万円、セグメント利益7百万円(同9.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末(平成25年9月30日)に比べ1億6千4百万円増加し、42億3千2百万円となりました。この主な要因は、原材料が減少した一方で、当座預金の増加がそれを上回ったことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円増加し、24億5千6百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2千3百万円増加し、17億7千6百万円となりました。この主な要因は、繰越利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2億1千9百万円増加し、5億5千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億2千8百万円の収入となりました。この主な要因は、たな卸資産の減少8千3百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出4百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9千6百万円の収入となりました。この主な要因は、短期借入金1億6千6百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、原料小麦価格の動向や消費税率引き上げに伴う需要への影響、さらには低価格志向を背景とした販売競争の激化など当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、一層の販売力の強化や製造効率の向上、更には徹底したコスト削減を推し進めておりますので、平成25年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,217	551,495
受取手形及び売掛金	403,983	453,327
商品及び製品	210,370	228,349
原材料及び貯蔵品	849,457	748,357
その他	46,470	35,212
貸倒引当金	△1,726	△3,463
流動資産合計	1,840,771	2,013,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	671,668	645,012
機械装置及び運搬具(純額)	466,617	481,295
その他(純額)	150,021	155,316
有形固定資産合計	1,288,307	1,281,623
無形固定資産	16,101	14,046
投資その他の資産		
投資有価証券	675,641	672,034
その他	366,582	314,762
貸倒引当金	△119,443	△63,017
投資その他の資産合計	922,780	923,780
固定資産合計	2,227,189	2,219,450
資産合計	4,067,961	4,232,729
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,291	316,469
短期借入金	1,178,000	1,344,000
1年内返済予定の長期借入金	197,852	166,191
未払法人税等	13,454	12,336
賞与引当金	19,153	14,505
その他	88,689	141,909
流動負債合計	1,810,441	1,995,411
固定負債		
長期借入金	353,450	318,679
退職給付引当金	850	1,381
その他	149,972	140,983
固定負債合計	504,272	461,044
負債合計	2,314,713	2,456,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,146,218	1,180,394
自己株式	△3,676	△3,691
株主資本合計	1,710,417	1,744,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,829	31,695
その他の包括利益累計額合計	42,829	31,695
純資産合計	1,753,247	1,776,273
負債純資産合計	4,067,961	4,232,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,727,369	1,738,403
売上原価	1,439,747	1,450,531
売上総利益	287,622	287,871
販売費及び一般管理費	253,482	245,126
営業利益	34,139	42,745
営業外収益		
受取利息	20	31
受取配当金	2,504	2,875
持分法による投資利益	11,879	13,367
その他	5,144	1,173
営業外収益合計	19,549	17,448
営業外費用		
支払利息	16,386	17,296
その他	362	250
営業外費用合計	16,749	17,547
経常利益	36,939	42,646
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,312
特別利益合計	—	1,312
税金等調整前四半期純利益	36,939	43,958
法人税、住民税及び事業税	15,987	10,918
法人税等調整額	△1,167	△1,136
法人税等合計	14,820	9,782
少数株主損益調整前四半期純利益	22,119	34,175
四半期純利益	22,119	34,175

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,119	34,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,081	△11,277
持分法適用会社に対する持分相当額	1,083	143
その他の包括利益合計	75,165	△11,134
四半期包括利益	97,284	23,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,284	23,041

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,939	43,958
減価償却費	61,565	59,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,180	1,696
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,762	△4,647
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	531
前払年金資産の増減額(△は増加)	3,887	1,726
受取利息及び受取配当金	△2,525	△2,907
支払利息	16,386	17,296
持分法による投資損益(△は益)	△11,879	△13,367
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,312
売上債権の増減額(△は増加)	20,962	8,446
たな卸資産の増減額(△は増加)	△366,409	83,120
仕入債務の増減額(△は減少)	228,796	△23,417
その他	△13,547	△16,167
小計	△35,766	154,196
利息及び配当金の受取額	2,525	2,907
利息の支払額	△16,366	△17,424
法人税等の支払額	△2,020	△10,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	△51,629	128,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△9,699	△4,691
投資有価証券の取得による支出	△1,358	△1,041
投資有価証券の売却による収入	—	2,000
その他	7,009	△3,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,048	△7,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	176,000	166,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△114,656	△116,431
社債の償還による支出	△20,000	—
その他	△3,449	△2,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,894	96,596
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,783	218,064
現金及び現金同等物の期首残高	298,166	332,167
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	280,382	551,445

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,711,369	16,000	1,727,369
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,711,369	16,000	1,727,369
セグメント利益	120,387	7,112	127,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	127,500
全社費用(注)	△93,360
四半期連結損益計算書の営業利益	34,139

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合 計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	1,722,403	16,000	1,738,403
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,722,403	16,000	1,738,403
セグメント利益	123,596	7,752	131,349

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	131,349
全社費用（注）	△88,604
四半期連結損益計算書の営業利益	42,745

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。